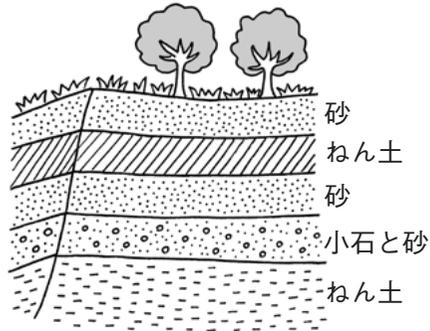




## 大地のつくりと変化 ① 水のはたらきと地層

1 次の( )にあてはまる言葉を□から選んでかきましょう。

(1) がけなどで、しまもようが見えるところがあります。よく見るとつぶの(①)や色がちがう、小石や(②)・どろなどが積み重なって層そうになっていることがわかります。これを(③)といいます。層の中に見られる小石は(④)のある形をしており、魚や貝などの(⑤)が見つかることもあります。



丸み 化石 大きさ 地層 砂すな

(2) 右の図のように流れるプールで実験をしました。

板の上に小石・砂・ねん土のまざったものをのせ、流れるプールの中に入れました。すると、小石・砂・ねん土のうち、運ばれる場所が近いものは(①)で、次が(②)、そして一番遠くまで運ばれたものは(③)でした。



小石・砂・ねん土の流され方を調べる

流れる水の(④)が変わると、積もる場所も変わります。

勢い 小石 砂 ねん土

### ポイント

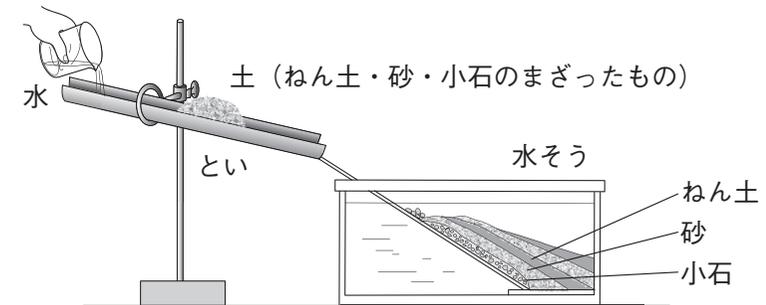
流れる水のはたらきによって、地層ができることを学びます。

2 次の( )にあてはまる言葉を□から選んでかきましょう。

(1) 流れる水は、土を運びます。これを(①)といいます。運ばれた土は、つぶの(②)のちがう、小石・(③)・ねん土に分かれ、順に(④)にたい積します。これが何度もくり返されて地層ができます。

砂 水底 運びん 大きさ

(2) 図は地層のでき方を調べる実験について表したものです。



小石と砂、ねん土がまじった土を水を入れた水そうに流します。土は下から(①)、(②)、(③)に分かれて積もります。これはつぶの(④)重いものが、速くしずむからです。土を2度流しこむと2度目の層は、1度目の層の(⑤)にできます。地層は(⑥)のはたらきによって小石・砂・ねん土などが(⑦)や湖の底に積もってできたことがわかります。

小石 ねん土 砂 大きい 海 流れる水 上